

点検・評価シート（2）

第 3 次大和市生涯学習計画

事務事業の概要

◆ 評価の基準について ◆

○目標（11 の中項目）の「総合評価」

A評価	目標の実現に向けて、期待を上回る結果が表れている。
B評価	目標の実現に向けて、期待された結果が表れている。
C評価	目標が実現に向けて、期待された結果が表れていない。

○小項目の「達成度」

A評価	「おもな成果の指標」が、21 年度に期待された結果を上回っている。
B評価	「おもな成果の指標」が、21 年度に期待された通りの結果になっている。
C評価	「おもな成果の指標」が、21 年度に期待された結果を下回っている。

中項目(1) 情報の提供

〔目標〕 生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

主な事業と平成21年度の実績

＜小項目①＞ 情報提供の充実

- ・ 多様化した市民ニーズに応えるため、関連情報の収集・蓄積・提供の充実に努めます。
- ・ 市民が、いつでもどこでも自分にあった方法で情報が取得できるよう、情報誌やインターネットなど様々なメディアを使った情報提供に努めます。
- ・ 図書の活用促進と、図書館のレファレンス機能の充実に努めます。

(1) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	3,490件	(前年度 3,742件)
事業・講座情報	3,057件	(同上 2,314件)
資格・試験情報	171件	(同上 25件)
ボランティア講師制度情報	850件	(同上 466件)
市民端末利用者数	16,852人	(同上 15,433人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	7,493件	(同上 7,544件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,742件 実績 3,490件

(2) 青少年センター運営事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成のため、青少年・青少年団体等へ施設を提供しました。また、大和市のホームページの体系の中で、青少年関係のページの内容の充実と、情報の随時更新を行いました。

- ・ 青少年センター利用者総数 44,491人 (前年度 45,232人)
- ・ 青少年センター個人・団体別等利用者数
個人：2,888人／団体：38,184人／自主事業：3,419人
- ・ 青少年センター区分別利用者数

幼児	8,769人	保護者	7,395人	小学生	8,766人
中学生	1,192人	高校生	286人	学生	926人
勤労青年	3,152人	指導者	2,867人	その他	11,138人
- ・ 情報提供項目数 67項目

〔活動指標〕 情報提供項目数(ホームページ) 予定 67件 実績 67件

(3) 図書館情報提供事業

【担当】 図書館

【事業内容】

- ・ 図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。
- ・ インターネットによる予約受付を行いました。
- ・ ブックリスト・図書館報を作成しました。



【活動指標】

図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 8,500 冊 実績 8,800 冊

＜小項目②＞ 学習相談の充実

- ・ 生涯学習情報システム「やまと生涯学習がいどぶっく電子版」等を活用した相談体制の充実を図ります。
- ・ 学習センターでの学習相談をはじめ、青少年センターや子育て支援センター等での教育相談等、市民一人ひとりの実情に合わせた、きめ細かい相談事業の充実を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	3,490 件（前年度 3,742 件）
事業・講座情報	3,057 件（同上 2,314 件）
資格・試験情報	171 件（同上 25 件）
ボランティア講師制度情報	850 件（同上 466 件）
市民端末利用者数	16,852 人（同上 15,433 人）
（生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）	
その他	7,493 件（同上 7,544 件）

【活動指標】

サークル・団体情報提供件数 予定 3,742 件 実績 3,490 件

＜小項目③＞ 支援者の充実

- ・ 生涯学習活動を支援する行政側のスタッフ（学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等）の充実に努めます。
- ・ 地域における人材情報の収集・蓄積・提供を行い、生涯学習ボランティア講師の充実に努めます。

(1) スポーツ指導者育成支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】

- ・ 大和市体育指導委員連絡協議会に対して補助金を交付しました。
- ・ 他市交流研修会を実施しました（横須賀市・大和市 40 人参加）。
- ・ 神奈川県体育指導委員連合会研修会へ派遣しました（3 回、のべ 82 人参加）。
- ・ 関東体育指導委員研究大会へ派遣しました（東京都 25 人参加）。
- ・ 全国体育指導委員研究協議会へ派遣しました（山口県 11 人参加）。

【活動指標】

各部会実施回数

予定 20 回

実績 16 回

(2) 青少年指導者育成支援事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】

青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

【活動指標】

青少年指導員年間活動数

予定 330 件

実績 485 件

(3) 図書館ボランティア養成講座事業

【担当】 図書館

【事業内容】

- ・ 図書館ボランティアの養成を行いました。
- ・ 養成講座やボランティアのつどい（市内活動団体の交流会）を実施しました。

読み聞かせボランティア養成講座

基礎編 : 2 回実施・のべ 59 人参加

ステップアップ編 : 3 回実施・のべ 61 人参加

ストーリーテリングボランティア養成講座 :

3 回実施・のべ 40 人参加

ボランティアのつどい : 1 回実施・6 団体・18 人参加



【活動指標】

ボランティア養成講座受講者数

予定 80 人

実績 78 人

大項目1 一人ひとりへの働きかけ 中項目(1) 情報の提供		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①は期待以上、小項目②は、期待通りの成果が表れていますが、小項目③については、事業の内容を成果に結びつけるための対策が必要です。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 情報提供の充実	施策の達成度 A
各学習センターで行っている様々な情報提供については、その内容により、ばらつきはありますが、成果指標(2)の発行部数を含めて、概ね前年度実績を上回っています。	
【小項目②】 学習相談の充実	施策の達成度 B
学習相談の実績は、相談件数の多寡にそのまま表われるものではありませんが、市民ニーズの把握を反映した情報提供を行いながら、サークル団体の運営に関する相談など、きめ細かい対応を行いました。	
【小項目③】 支援者の充実	施策の達成度 C
生涯学習には学習相談員、社会教育指導員など多くのスタッフがかかわり、様々な支援を行っています。しかし、スポーツ指導者(体育指導委員)の各部会の開催回数や、図書館ボランティア養成講座受講者数などは前年度の実績を超えていません。今後は、体育指導委員の活動回数を増やすとともに、ボランティア養成講座受講者の増加を図るためのPRに努めていきます。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 「生涯学習がいどぶっく」発行部数	3,500部	3,500部	毎年、前期2,500部、後期1,000部の発行が十分な数であり、これを維持することを目標にします。
(2) 図書情報冊子(ブックリスト)発行部数	8,800部	9,000部	H19年度実績の8,000部をベースとして、毎年3%増を目指します。本年度は目標ペースを約300部上回っています。
(3) 図書リサイクルフェア参加者数	1,005人	1,250人	H19年度実績の1,200人をベースとして、毎年1%の参加者増を目指します。本年度は新型インフルエンザの影響で目標ペースを下回りました。
(4) 文化財収蔵資料見学者数	22人	50人	H19年度前後の平均の50人をベースとして、維持を目指します。本年度は、新たな資料の収蔵が無かったため、見学者が下回りました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

「生涯学習がいどぶっく」については、従前は年1回の発行でしたが、より最新の情報提供を行うため、平成22年度から前期・後期に分けて年2回発行しています。また、乳幼児と保護者が絵本を通じてコミュニケーションを深め、安心して子育てができ、未来を担う子どもの健全な成長を支援するブックスタートを平成22年度から実施しています。

中項目(2) 学習機会の提供

〔目標〕 全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に努めます。

主な事業と平成21年度の実績

<小項目①> 市民ニーズに応じた学習機会の提供

- ・ 全庁で実施している事業を有機的なつながりをもって提供できるように、重複事業の一元化を図り、効果的な事業を実施していきます。
- ・ 分野別／難易度別に体系化した学習機会の提供に努めます。
- ・ 実施時間／曜日／保育付きなど市民の多様なライフスタイルに配慮した、参加しやすい講座を実施します。

(1) 青少年育成事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年を対象とした、社会・自然体験推進のため、大和ユースクラブに事業を委託しました。

＜会員数＞

わくわく冒険隊 : 75人 ジュニアシニアクラブ : 75人
ユースボランティア : 50人

- ・ 子どもが自由に活動できる場所を提供しました。

子ども広場 … 毎週水曜日の午後と土曜日、夏休み中に体育室を開放しました。

ユースクラブ … 宿泊研修、野外活動体験等の活動を実施しました。

中高生ボランティア … 夏休み中の子ども広場をボランティア体験の場として実施しました。

〔活動指標〕 ユースクラブ活動日数 予定 50日 実績 51日

(2) 少年洋上体験事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成基金を原資とし、帆船「あこがれ」をチャーターし、3泊4日のセイルトレーニング（本研修）と、事前・事後研修を実施しました。

- ・ 参加者数 30人（前年度 30人）
- ・ 本研修 8月21日(金)～24日(月)
- ・ 発着港 清水港から
横浜港

- ・ 事前・事後研修
8月9日(日)、
9月5日(土)

〔活動指標〕 参加者数
予定 30人
実績 30人



(3) 講座等開催事業

【担当】 生涯学習センター

- 【事業内容】 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。
- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 65 事業）
 - ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
29 事業（同上 27 事業）
 - ・その他事業（音楽会や発表会等） 30 事業（同上 29 事業）
 - ・協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）



【活動指標】 開催講座数 予定 130 事業 実績 143 事業

(4) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

- 【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。
- ・人間を知るコース（4 回開催）
「平家物語」入門～日本の古典を知る～
 - ・現代を知るコース（6 回開催）
「地球温暖化と異常気象」
 - ・現代を知るコース（6 回開催）
「ロボット工学」入門

【活動指標】 講座回数
予定 16 回 実績 16 回



(5) 図書資料貸出事業

【担当】 図書館

- 【事業内容】
- ・利用者が図書館に求める資料を収集しました。
 - ・未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。
- 蔵書冊数（市内図書館施設合計） 408,727 冊（前年度 400,171 冊）

【活動指標】 資料貸出冊数 予定 945,000 冊 実績 977,856 冊

＜小項目②＞ 現代的課題に関する学習機会の提供

- ・ 関連計画との整合を図り、庁内で連携した学習機会の提供に努めていきます。
- ・ 現代的課題を生涯各期の学習機会の中に体系化し、それぞれの年代に応じ学習機会の提供に努めていきます。

〔再掲〕 講座等開催事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・ 生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 65 事業）
- ・ 現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
29 事業（同上 27 事業）
- ・ その他事業（音楽会や発表会等） 30 事業（同上 29 事業）
- ・ 協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）

〔活動指標〕 開催講座数 予定 130 事業 実績 143 事業

〔再掲〕 市民大学事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・ 人間を知るコース（4 回開催）「平家物語」入門～日本の古典を知る～
- ・ 現代を知るコース（6 回開催）「地球温暖化と異常気象」
- ・ 現代を知るコース（6 回開催）「ロボット工学」入門

〔活動指標〕 講座回数 予定 16 回 実績 16 回

＜小項目③＞ 生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供

- ・ 地域住民の主体的なスポーツ活動を支援し、定期的・継続的なスポーツ活動の充実を図ります。
- ・ 生涯スポーツ事業を年代別・難易度別に体系化し、行事や教室等の提供に努めます。
- ・ スポーツ水準の向上を図るための事業を提供していきます。
- ・ 心身の健康管理や病気予防等の知識が身につく講座を開催するなど、健康を維持増進するための学習機会を提供していきます。

〔1〕 スポーツ教室開催事業

〔担当〕 スポーツ課

〔事業内容〕 スポーツ教室の開催を(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託して実施しました。

開催教室：9 種目 11 教室（前年度 8 種目 11 教室）

- ・ トランポリン教室 2 回
- ・ 障がい者卓球教室 1 回
- ・ 健康体操教室 1 回
- ・ はじめてのヨガ教室 2 回
- ・ はじめての親子体操教室 1 回
- ・ 夏休み少年サッカー教室 1 回
- ・ ソフトバレーボール教室 1 回
- ・ 市民体力つくり歩け歩け運動 1 回
- ・ スポーツマッサージ教室 1 回

参加人数計：394 人（前年度 488 人）

〔活動指標〕 開催種目数 予定 9 種目 実績 9 種目

(2) スポーツ大会開催事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】 各種スポーツ大会の開催を支援しました。

<開催実績（参加チーム数・人数等）>

- ・大和市民総合スポーツ選手権大会 4,775人（前年度 7,668人）
- ・大和市民駅伝競走大会 137団体（同上 104団体）
- ・スポーツフェスタ 1,285人（同上 755人）
- ・大和市民ゴルフ大会 286人（同上 344人）
- ・大和市民まつりスポーツイベント 1,700人（同上 714人）

【活動指標】

開催回数
予定 6回
実績 6回



大和市民駅伝競走大会

(3) 学校施設スポーツ開放事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】 スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小中学校の校庭・体育館・武道場・プールを開放しました。

	利用件数		利用人数	
	H21	H20	H21	H20
校庭開放	3,705	3,797	196,897	197,375
体育館開放	11,402	11,273	247,042	238,638
プール開放	(18校で開催)	(18校で開催)	9,584	10,745

※プール開放期間 7月22日～8月16日

【活動指標】

登録団体数 **予定** 550団体 **実績** 544団体

(再掲) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース（4回開催）「平家物語」入門～日本の古典を知る～
- ・現代を知るコース（6回開催）「地球温暖化と異常気象」
- ・現代を知るコース（6回開催）「ロボット工学」入門

【活動指標】

講座回数 **予定** 16回 **実績** 16回

＜小項目④＞ 芸術・文化に関する学習機会の提供

- ・ 芸術・文化活動への市民の関わりを深め、広げていきます。
- ・ 地域文化創造の基盤となる文化遺産の継承と周知を図っていきます。

(1) 文化芸術振興事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 下記の事業を開催しました。

- ・ コミュニティ音楽館 (来場者数 974 人)
- ・ 文化祭 (出品数 189 点)
- ・ ダンスフェスティバル (出場者数 25 組)
- ・ さくら文芸祭 (出品数 166 点)
- ・ 第4回大和文芸映画祭 (入場者数 558 人)



文化祭の様子

【活動指標】 コミュニティ音楽館の開催日数 予定 10日 実績 13日

(2) 音楽・演劇フェスティバル開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 ・ 音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに単独のイベントとして、それぞれの参加団体による実行委員会に委託して実施しました。

音楽フェスティバルの開催 : 2回

・ 演劇フェスティバルは、市内で文化活動として演劇に携わる人たちによる実行委員会に委託し、実施しました。

子ども演劇フェスティバルの開催 : 1回

【活動指標】 音楽・演劇フェスティバル参加団体数 予定 28団体 実績 32団体

(3) 埋蔵文化財保護事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 ・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者の照会を行いました。

1,194 件 (前年度 1,401 件)

・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者との協議を行いました。

94 件 (同上 90 件)

・ 埋蔵文化財の発掘調査を行いました。

26 件 (同上 27 件)

【活動指標】 文化財保護法上の事務件数 予定 111 件 実績 94 件

(4) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理運営を行いました。

指定管理者 : 財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園者総数 : 26,002 人 (前年度 26,474 人)

【活動指標】 行事参加者数 予定 645 人 実績 400 人

(5) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店

入館者数：7,562人（前年度 6,096人）



ふるさと館の外観



母屋

【活動指標】

一般公開日数

予定 296日 実績 308日

(6) つる舞の里歴史資料館運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

・資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に関する理解を深めました。

・常設展を開催するほか、企画展「大和州市制 50 周年記念事業 大和誕生 - 明治・大正・昭和の大和 -」を開催しました。

開催期間：10月31日～

12月13日

入場者：1,141人



【活動指標】

年間入場者数

予定 4,000人 実績 5,589人

大項目1 一人ひとりへの働きかけ 中項目(2) 学習機会の提供		総合評価 A
目標の実現に向けて	小項目①②④は、事業の充実により期待以上の成果が表れています。 小項目③については、達成度を向上させるための対策が必要です。	

1. 施策に対する成果と課題

<p>【小項目①】市民ニーズに応じた学習機会の提供 施策の達成度 A</p> <p>成果指標(1)(2)をはじめとする各種講座や少年洋上体験など、市民ニーズに対応した学習機会の提供は、ほとんどの事業で前年度実績を上回っており、市民の学習意欲の向上を図ることについて成果が表れています。</p>
<p>【小項目②】現代的課題に関する学習機会の提供 施策の達成度 A</p> <p>市民大学では、毎年、現代的課題や社会情勢をテーマにした講座を開催しており、好評を得ています。また、学習センターで実施する各種講座も同様に行っており、事業の達成度は高くなっています。</p>
<p>【小項目③】生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供 施策の達成度 B</p> <p>市民の健康増進の観点からスポーツ意欲を高めるために、各種スポーツ大会やスポーツ教室などを実施していますが、成果指標(5)のとおり、実績は前年度なみとなっています。</p>
<p>【小項目④】芸術・文化に関する学習機会の提供 施策の達成度 A</p> <p>市民に文化・芸術に親しんでもらえるよう、文化祭やコミュニティ音楽館などを開催していますが、近年は、回数を増やすなどの取組みを行いました。また、施設についても、来場者数を増やすため、企画展などの充実を図りました。</p>

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学受講者のべ人数	871人	900人	受講者定員合計の8割以上の出席率を最終目標にしています。本年度は81%でした。
(2) おはなし会、読書に関する講演会の参加者数	3,661人	3,750人	H19年度の2,140人をベースとして、毎年15%の参加者増を目指します。本年度は目標ペースを約800人上回っています。
(3) 図書館・生涯学習センター図書室の市民1人あたり貸出図書数	4.33冊	4.43冊	H19年度の3.94冊をベースとして、毎年3%の伸びを目指します。本年度は目標ペースを上回りました。
(4) 生涯学習センター5館の市民1人あたり年間利用回数	4.05回	4.23回	渋谷学習センターは、新規オープン後に年5%の利用者増、その他の学習センターは年1%の利用者増を目指します。
(5) 各種スポーツ大会の参加者数	9,044人	9,225人	本年度の参加者数をベースとして、年1%増を目指します。本年度の参加者数は、概ね前年度同様です。

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(6) スポーツ施設の市民1人あたり利用回数	6.03回	6.15回	対前年度1%の増加を目指します。本年度は、施設によっては、目標値を上回っているところもありましたが、全体では施設数の減があったため、下回っています。
(7) 歴史文化施設の利用者数	39,153人	42,600人	H19年度の3施設利用者合計41,000人をベースとして、毎年1%の増加を目指します。本年度は目標ペースを下回りました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

引き続き、市民が身近な所で、気軽に文化・芸術に触れる機会を増やすように努めていきますが、下鶴間ふるさと館などでは来場者数が伸び悩んでいるため、年間行事の見直しや市民が興味を持てる企画展など、工夫を凝らした取組みに努めていきます。

中項目（3）ボランティア機会の提供

〔目標〕 一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

主な事業と平成21年度の実績

<小項目①> ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及

- ・ 市民活動センター、社会福祉協議会やまもボランティアセンターなど、ボランティア窓口機関や関係課が一体となって、一人ひとりの市民の視点に立ったわかりやすく信頼感の持てる総合的なボランティア窓口を設置します。
- ・ ボランティア窓口の機能・人員・業務内容を充実させ、窓口やボランティア活動の存在について一般への認知度を向上させ、普及・浸透させていきます。

<小項目②> ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築

- ・ ボランティア登録等の総合窓口を中心に、紹介・実践を持続的に行い、ボランティア市民層の発掘・拡大、研修（受け入れ先機関等との連携企画）、評価（顕彰促進、成果の社会へのPRなど）を行い、活動がより多くの市民の目に触れ、より多くの市民の充実した参加が得られるようにします。
- ・ より多くのボランティア活動メニューを提示し、市民一人ひとりのニーズに応えられるよう、庁内各課・施設・関係機関・団体等へのボランティアの受入について働きかけ、新たなボランティア活動を創出していきます。
- ・ 学習センターを中心に、地区に根ざした活動についてボランティア市民層の発掘、身近で気軽な実践機会の提供、ステップアップに向けた情報提供を行います。

（再掲）生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,490件（前年度3,742件）
事業・講座情報	3,057件（同上 2,314件）
資格・試験情報	171件（同上 25件）
ボランティア講師制度情報	850件（同上 466件）
市民端末利用者数 （生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）	16,852人（同上 15,433人）
その他	7,493件（同上 7,544件）

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,742件 実績 3,490件

大項目1 一人ひとりへの働きかけ 中項目(3) ボランティア機会の提供		総合評価 B
目標の実現に向けて	期待以上の成果が表れている項目がある一方で、目標に届かなかった項目もあり、評価はBとしました。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及	施策の達成度 B
【小項目②】 ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築	
生涯学習に関わるボランティアは、重要な役割を担っており、多くの市民にボランティアに関わっていただくことが求められます。ボランティア情報を多く提供することにより、成果指標(1)は目標を上回りましたが、成果指標(2)は目標に達しませんでした。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) ボランティア講師登録者数	231人	225人	H19年度実績の200人をベースとして、毎年3%増を目指します。本年度は最終目標をすでに上回っています。
(2) 夏休み期間中に青少年センター・ボランティア体験に参加した中高生数	18人	44人	H19年度実績の33人をベースとして、毎年1割増を目指します。本年度は41%でした。
(3) 乳幼児期事業参加者数	11,253人	11,815人	参加者数は、毎年5%増を目指します。

2. その他、事務事業に関する特記事項

現在、「生涯学習ボランティア講師の会」など自主的に活動するボランティア団体が多くなってきており、行政にとっては、大きな力となっています。

そのためにも、ボランティアに関する情報の提供を引き続き行い、ボランティアの養成・発掘に努めていきます。

中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援

- 〔目標〕
- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
 - ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します

主な事業と平成 21 年度の実績

＜小項目①＞ 情報収集・蓄積・提供

- ・全市的・広域的なテーマ別活動の情報収集・蓄積・提供を行う市民活動センターへ市内各課等が情報を提供するなど、積極的な連携・協力を図ります。

〔再掲〕生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	3,490 件 (前年度 3,742 件)
事業・講座情報	3,057 件 (同上 2,314 件)
資格・試験情報	171 件 (同上 25 件)
ボランティア講師制度情報	850 件 (同上 466 件)
市民端末利用者数	16,852 人 (同上 15,433 人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	
その他	7,493 件 (同上 7,544 件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,742 件 実績 3,490 件

＜小項目②＞ 初動期・発展期のグループ活動への支援

＜小項目③＞ 持続的な支援

- ・市民活動推進事業の中で、テーマ別の初動期・発展期のグループ活動への支援を行います。
- ・学習センターの学習交流支援システム（市民が企画する講座など、広く一般へ働きかける事業への支援システム）の普及・活動促進を図ります。
- ・重要度の高い分野については、市内各課機関等が直接または間接的に持続的なグループ活動支援を行っていきます。

(1) やまと成人式開催事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容] 新成人等で組織する実行委員会に「2010 やまと成人式」の企画・運営・実施を委託しました。

日程：平成 22 年 1 月 11 日（祝） 場所：大和スポーツセンター

運営内容等 ・案内状・チケット等の印刷物のデザイン

・式典及び司会進行

・アトラクション

・託児室の設置 等

参加者：1,409 人（72.7%）

（前年度 1,431 人（68.1%））

[活動指標] 式典参加者数

予定 1,937 人

実績 1,409 人



「2010 やまと成人式」実行委員

(2) 生涯学習振興基金活用支援事業

[担当] 文化振興課

[事業内容] 下記の2団体に対し、生涯学習振興補助金を交付しました。

・交付団体「やまと子どもミュージカル」

実施日：4月3日

会場：大和市生涯学習センターホール

入場者数：1,079 人

・交付団体「大和市音楽家協会」

実施日 8月29日～3月21日

会場 つきみ野学習センター

入場者数 579 人

<基金残高> 平成 20 年度末現在高 21,757,926 円

平成 21 年度末現在高 21,039,843 円

[活動指標] 補助金申請件数

予定 3 件 **実績** 2 件

(再掲) 青少年指導者育成支援事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容] 青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

[活動指標] 青少年指導員年間活動数

予定 330 件 **実績** 485 件

(再掲) 文化芸術振興事業

[担当] 文化振興課

[事業内容] 下記の事業を開催しました。

・コミュニティ音楽館 (来場者数 974 人)

・文化祭 (出品数 189 点)

・ダンスフェスティバル (出場者数 25 組)

・さくら文芸祭 (出品数 166 点)

・第 4 回大和文芸映画祭 (入場者数 558 人)

[活動指標] コミュニティ音楽館の開催日数

予定 10 日 **実績** 13 日

<小項目④> 担い手の発掘・育成・主体創出

- ・ 庁内各課・機関等は、重要度の高い分野で協働可能な領域について、必要な事業・活動の理解者・協力者となる市民を発掘・育成し、組織化を支援するなどして、その事業・活動を担う主体を創出していきます。

(1) 青少年健全育成都市宣言推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】

青少年の育成活動について幅広く市民に啓発を図り、市民総ぐるみの運動として青少年健全育成大会を開催しました。

<青少年健全育成大会の主な内容>

表彰式： 被表彰者 21 人、1 団体
 作文発表： 応募人数 1,905 人（小 20 校、中 9 校、高 2 校）
 作文集掲載者： 36 人
 作文朗読者： 4 人（小 1 人、中 2 人・高 1 人）
 活動発表： 南林間中学校合唱部、SOUL Freedom

【活動指標】 青少年問題協議会の開催回数 予定 2 回 実績 2 回

(2) 市立小中学校特別教室の開放事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	42 回	785 人	引地台中	75 回	709 人
渋谷小	182 回	3,379 人	渋谷中	1,356 回	23,792 人
林間小	154 回	1,530 人	光丘中	69 回	1,435 人

※渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称：下和田の郷））の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

【活動指標】 下和田の郷教室事業数 予定 24 事業 実績 24 事業

<小項目⑤> 一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進

- ・ 庁内各課・機関等は、全市的・広域的なテーマ別活動やパイロット的活動が一定の成果をあげた場合の次のステップとして、その活動をより一般化・汎用化して、地区単位活動へ普及・浸透させていきます。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報 3,490 件（前年度 3,742 件）
 事業・講座情報 3,057 件（同上 2,314 件）
 資格・試験情報 171 件（同上 25 件）
 ボランティア講師制度情報 850 件（同上 466 件）
 市民端末利用者数 16,852 人（同上 15,433 人）
 （生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）
 その他 7,493 件（同上 7,544 件）

【活動指標】 サークル・団体情報提供件数 予定 3,742 件 実績 3,490 件

教育委員会の自己点検・評価

大項目2 グループ活動への支援 中項目(1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援	総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目④以外の4項目について、成果の向上のために対策が必要です。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 情報収集・蓄積・提供 生涯学習に関わる様々な活動を行っている団体をサポートする「市民活動センター」と連携を図り、相互に情報を共有するとともに、情報を一元化し、情報の発信を図ることができています。	施策の達成度 B
【小項目②】 初期的・発展期のグループ活動への支援 【小項目③】 持続的な支援 市民活動を推進するためには、活動グループの立ち上げも必要ですが、既に活動を行っているグループの持続的な支援が重要となります。継続して支援は行っていますが、成果としては前回並みとなっています。	施策の達成度 B
【小項目④】 担い手の発掘・育成・主体創出 渋谷中学校の特別教室の開放は市と市民団体「渋谷きんりん未来の会」との協働で行っています。積極的な事業展開を図ることにより、特別教室の利用件数も9%近く増やすことができました。成果指標(2)も目標を大きく上回っています。	施策の達成度 A
【小項目⑤】 一般化・汎用化と地区単位活動への普及活動 行政が実施している様々な事業も、地区で活動している団体などにその一翼を担っていただくことが今後求められ、その方向性に向け、事業の見直しを行っていますが、目に見える成果はあがっていません。今後は、団体を育成し、事業に積極的に取り組んでもらえるような人材の発掘に取り組んでいきます。	施策の達成度 C

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 音楽・演劇フェスティバル参加者数	1,400人	1,400人	ホールの定員を考慮し、現状維持を目指します。
(2) 青少年指導員年間活動数	485回	330回	例年なみの330回を目標値としました。今年度は、目標を大きく上回りました。

2. その他、事務事業に関する特記事項

大和市における社会資源の充実を図ることを目的に設置されている「市民活動センター」との連携をさらに強くし、情報の一元化、グループ活動の役割分担や整合を図っていくことを目指していきます。

中項目（2）地区単位活動への支援

【目標】 広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

主な事業と平成21年度の実績

<小項目①> 情報収集・蓄積・提供

- ・ 現在、情報コーナー管理や学習相談など主に社会教育主事・社会教育指導員が実施している各学習センターの機能・体制を強化し、より積極的に身近な地区単位活動の情報収集・蓄積・提供を行います。

（再掲）生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,490件（前年度3,742件）
事業・講座情報	3,057件（同上 2,314件）
資格・試験情報	171件（同上 25件）
ボランティア講師制度情報	850件（同上 466件）
市民端末利用者数	16,852人（同上15,433人）
（生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）	
その他	7,493件（同上7,544件）

【活動指標】 サークル・団体情報提供件数 予定 3,742件 実績 3,490件

<小項目②> 学習交流支援システムの普及・活用促進

<小項目③> 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援

- ・ 各学習センターにおける学習交流支援システム（市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業への支援システム）の普及・活用促進を図り、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させます。
- ・ 庁内各課・機関や団体等が各分野の担い手の発掘・育成・主体創出等で社会教育的事業を行う場合に、各学習センターが共催事業とするなど、連携・協力・支援を行います。
- ・ 各学習センターに社会教育指導員を充実配置し、社会教育主事など専門職員による指導のもと、地区単位活動の連携推進業務を担当させながら、地区の市民感覚と行政・共益への理解とを併せ持つ人材を持続的に地区へ輩出していきます。

（1）学習センター地域文化振興事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、各学習センターを会場に、サークル等の合同発表会（展示・発表・実演・上映会）として「学習センターまつり」を開催しました。

【活動指標】 生涯学習センターまつり参加団体数 予定 137団体 実績 118団体

＜小項目④＞ 持続的な支援

- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、普及・活用・浸透を図ります。
- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、人材育成等が十分に行き渡り、事業の理解・行動の担い手となる市民層が充実した地区から順次支援対象を市民自治区とし、個別の単位集団への支援業務等を委ねていきます。

(1) 親子ふれあい推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 ふれあい広場は推進委員会に、また、親子ナイトウォークラリーは青少年指導員連絡協議会に委託して実施しました。

＜ふれあい広場＞

開催期間 平成 21 年 10 月から平成 22 年 1 月まで

開催場所 地区実行委員会 12 地区、小学校区実行委員会 3 地区

入場者数 8,890 人（前年度 18,408 人）

＜親子ナイトウォークラリー＞

実施日：平成 21 年 7 月 18 日（土）

スタート：林間小学校・緑野青空子ども広場

ゴール：林間小学校

参加者数：162 組 563 人（前年度 130 組 469 人）



【活動指標】 ふれあい広場開催回数 予定 15 回 実績 6 回

(2) スポーツ関係団体支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】 次の団体に対して補助金を交付しました。

- ・ 地区体育振興会（11 地区）
- ・ 体育協会
- ・ スポーツ少年団
- ・ レクリエーション協会
- ・ 軽スポーツ協会

【活動指標】 地区体育振興会連絡協議会開催数 予定 4 回 実績 3 回

大項目2 グループ活動への支援 中項目(2) 地区単位活動への支援		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目②③④について、新たなニーズを発掘する等により、達成度の向上を図る必要があります。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 情報収集・蓄積・提供	施策の達成度 A
各学習センターには、社会教育主事や、社会教育指導員が常駐しており、資格・試験情報やサークルの活動情報などを提供しています。そのなかでも、ボランティア講師制度について、多くの情報を提供することができました。	
【小項目②】 学習交流支援システムの普及・活用活動	施策の達成度 B
【小項目③】 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援	
各学習センターで行っている地域文化振興事業は、参加団体で組織された実行委員会方式で行っています。また、各団体の課題として所属する会員の高齢化や新規加入者の減少などがあるので、学習交流支援の強化をしていきます。	
【小項目④】 持続的な支援	施策の達成度 C
地区単位活動は、いかに継続させていくかが、大きな課題となります。そのためには、各課の事業の中で、参加者を多くし、後継者の発掘を行っていく必要がありますが、予定どおりの参加者に達しませんでした。今後は、団体活動に興味を持たせるような趣向を凝らした事業内容や、活動の積極的なPRを推進してまいります。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) センターまつり参加者数	5,682人	5,700人	各館の部屋数に応じた団体数となっているため、現状の数値とします。
(2) 社協団主催地域学習交流事業参加者団体数	201団体	202団体	各館の部屋数に応じた団体数となっているため、現状の数値とします。
(3) 青少年センター利用者数	44,491人	45,000人	過去5年間の平均の維持を目指すため、現状の数値とします。
(4) ふれあい広場参加者数	8,890人	18,000人	H18～H20年度の平均参加者数の維持を目指します。本年度は、新型インフルエンザの影響により多くの地区で開催を見送りました。
(5) 親子ウォークラリー参加者数	563人	550人	過去4年間の平均参加数の維持を目指します。本年度も例年通りの成果でした。

2. その他、事務事業に関する特記事項

地区単位活動を活発にするためには、地域の特性や年齢層に応じた活動展開が必要となるため、親子でいっしょに出来るような活動や退職した市民の方々が魅力を持てるような場や機会の提供を今後も行っていきます。

大項目 3

学習空間の確保

中項目（1）既存の生涯学習施設の充実

- 【目標】 ・ 多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

主な事業と平成 21 年度の実績

<小項目①> 利用しやすい施設づくり

- ・ 利用者の利便性向上のために、施設スタッフの充実と施設利用システムの改善等に努めていきます。
- ・ 快適な施設づくりのために、設備の改善等に努めていきます。

（1）青少年センター施設維持管理事務

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 施設の総合的な維持管理を行いました。

【活動指標】 委託管理件数

予定 15 件 実績 15 件

（2）生涯学習センター会議室等貸出事務

【担当】 生涯学習センター

- 【事業内容】
- ・ 施設利用に必要な団体登録申請に係る事務や登録後の各種変更申請の処理を行いました。
 - ・ 会議室等使用料の収納、利用状況の統計事務、物品・備品の貸出などを行いました。
 - ・ 平成 22 年 3 月に新渋谷学習センターが開館しました。休館日も毎月最終月曜日のみとして、市民の多様化したニーズに合わせています。



【活動指標】 開催日数

予定 1,535 日 実績 1,469 日

＜小項目②＞ 施設の効果的な運営

- ・ 市民協働や民間委託などの手法も視野に入れながら、施設の効果・効率的運営を図っていきます。

(1) 青少年キャンプ施設管理運営事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 このまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

＜利用者数等＞

・ 泉の森ふれあいキャンプ場 15,467人（前年度 12,892人）

※ 開設日：3～11月…毎日 / 12～2月…土・日・祝日



・ このまさわキャンプ場 587人（同上 498人）

※ 開設日：8月8日～15日（8泊9日）

稼働率 92.4%（前年度 66.7%）

【活動指標】 泉の森ふれあいキャンプ場開放日数 予定 302日 実績 302日

(再掲) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園総数：26,002人（前年度 26,474人）

【活動指標】 行事参加者数 予定 645人 実績 400人

(再掲) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店

入館者数：6,096人（前年度 6,883人）

【活動指標】 一般公開日数 予定 296日 実績 308日

(再掲) 図書館情報提供事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・ 図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。

・ インターネットによる予約受付を行いました。

・ ブックリスト・図書館報を作成しました。

【活動指標】 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 8,500冊 実績 8,800冊

教育委員会の自己点検・評価

大項目3 学習空間の確保 中項目(1) 既存の生涯学習施設の充実	総合評価 B
目標の実現に向けて	施設ごとに事情があり、評価が難しい面もありますが、小項目①②の達成度を総合して、上記の評価としました。

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 利用しやすい施設づくり 利用者の利用促進を図るため、また、施設を安全に、快適に使用していただけるよう適切な維持管理に努めました。しかし、施設の修繕や移転のため、使用できない期間があり、目標とする利用者数の達成は図れませんでした。	施策の達成度 B
【小項目②】 施設の効果的な運営 図書館については、平成 21 年度から市の職員を半数に減らし、民間業務委託を行いました。運営経費削減を図ることができたうえ、貸出業務などのサービスの質の低下させることなく、運営することができました。	施策の達成度 A

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) スポーツ施設の市民 1 人あたりの利用回数	6.03 回	6.15 回	対前年度 1%の増加を目指します。本年度は、各施設ごとでは、目標値を上回っているところもありましたが、全体では施設数の減があったため、下回っています。
(2) 青少年キャンプ施設利用者数	泉の森ふれあいキャンプ場		過去 4 年間の平均利用者数の維持を今後の目標とします。本年度は「泉の森」「このまさわ」ともに目標以上でした。
	15,467 人	14,000 人	
	このまさわキャンプ場		
	587 人	500 人	

2. その他、事務事業に関する特記事項

施設の運営は、市の直営、一部民間委託、指定管理などの手法で行っています。施設によっては、次期の指定管理更新時に市の直営に戻す予定のものもありますが、今後も引き続き市民が利用しやすい施設運営を行っていきます。

中項目（2）新たな学習空間の確保

〔目標〕 自然や史跡、広場など、学習空間の確保に努めていきます。

主な事業と平成 21 年度の実績

<小項目①> 新たな学習空間の確保

- ・ 閉じられた施設空間だけでなく、開放的な屋外空間の確保にも努めていきます。

（1）放課後子ども教室推進事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、また、様々な遊びを通して、協調性や社会性を養う場として、2小学校において下記のとおり実施しました。

<草柳小学校>

参加実績 全 73 回開催、のべ利用者数 4,295 人

実施場所 校庭・体育館・児童会室

実施日時 授業のある日の月曜日と水曜日 午後 2 時から午後 5 時

<上和田小学校>

参加実績 全 60 回開催 参加者数 2,428 人

実施場所 校庭・体育館・PTA 会議室

実施日時 授業のある日の月曜日と金曜日 午後 2 時から午後 5 時

〔活動指標〕 放課後子ども教室 1 日平均利用者数 **予定 95 人 実績 100 人**

（再掲）市立小中学校特別教室の開放事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	42 回	785 人	引地台中	75 回	709 人
渋谷小	182 回	3,379 人	渋谷中	1,356 回	23,792 人
林間小	154 回	1,530 人	光丘中	69 回	1,435 人

※渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称：下和田の郷））の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

〔活動指標〕 下和田の郷教室事業数 **予定 24 事業 実績 24 事業**

中項目（3）施設配置の再検討

〔目標〕 生涯学習関連施設の今後のあり方を再検討していきます。

主な事業と平成 21 年度の実績

<小項目①> 施設配置の再検討

- ・ 施設概念を、広く自然や史跡等を含む活動空間としてとらえながら、取り巻く情勢の変化を踏まえて、今後の関連施設のあり方について再検討していきます。
- ・ 今後の関連施設のあり方は、市民や関連部署とともに検討していきます。

（1）文化会館建設基金管理事務

〔担当〕 文化振興課

〔事業内容〕 寄附金の受入れ及び積立金の管理を行いました。

寄附件数 2 件（前年度 1 件）

〔活動指標〕 寄附金受入件数 **予定 1 件 実績 2 件**

教育委員会の自己点検・評価

大項目3 学習空間の確保 中項目(2) 新たな学習空間の確保 中項目(3) 施設配置の再検討		総合評価 A
目標の実現 に向けて	中項目(2)は期待以上のペースで成果が表れています。中項目(3)は 想定通りの成果が得られています。	

1. 施策に対する成果と課題

中項目(2)【小項目①】 新たな学習空間の確保	施策の達成度 A
特別教室の開放は、新たに平成20年10月に光丘中学校、平成21年6月に林間小学校 で開放し、6校となっています。特に渋谷中学校では開放回数も増え、新たな学習空間の 確保はできています。	
中項目(3)【小項目①】 施設配置の再検討	施策の達成度 A
新たな文化施設の建設計画には、学習センターや図書館の移設も予定に入っており、現 在多方面にわたり検討を行っているところです。また、文化会館建設基金については、寄 付金及び積立金の管理を行いました。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度 実績	H23年度 目標	コメント
(1) 放課後子ども教室実施校数	2校	19校	H23年度までに全小学校で実施し、その後の維持を目指します。
(2) 特別教室開放利用回数	1,878回	1,920回	H23年度には、特別教室開放のための開放校増加に向け準備を進めています。

2. その他、事務事業に関する特記事項

地域社会における学習機会の提供や学習施設の整備・充実が望まれているなか、特別教室の開放については、今後も実施校を増やし、地域における身近な場所で、学習機会の提供ができるよう努めていきます。そのために、19校での実施の実現に向けて、子どもの指導者など支援者を発掘・育成していきます。

中項目（1）市民とともに推進する

- 〔目標〕
- ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
 - ・個人・グループ単位の市民と協働した事業推進を図っていきます。

主な事業と平成 21 年度の実績

＜小項目①＞ 市民代表機関の充実

- ・生涯学習推進協議会の市民メンバー比率を高めていきます。
- ・生涯学習推進協議会の機能を拡大していきます。

（1）生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習推進協議会は、平成 20 年度まで、計画の効果的推進のために、市に提言を行っていましたが、計画に対する役割が概ね終了したため、平成 21 年度は開催しませんでした。

〔活動指標〕 生涯学習推進協議会開催数 予定 0回 実績 0回

＜小項目②＞ 市民と協働で進める事業

- ・ボランティア講師組織の自立化を支援していきます。
- ・学習グループの自主企画講座等の活発化を支援していきます。

（再掲）講座等開催事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 65 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
29 事業（同上 27 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 30 事業（同上 29 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）

〔活動指標〕 開催講座数 予定 130 事業 実績 143 事業

大項目4 推進体制の確立 中項目(1) 市民とともに推進する		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①②ともに、期待以上の成果が表れており、今後のさらなる向上が期待できます。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 市民代表機関の充実	施策の達成度 B
【小項目②】 市民と協働で進める事業	
<p>市民が自主的に取り組みを行うためには、学習グループなどの自主企画の講座開催数を増やすことなどが必要となります。学習センターで行っている講座も、開催数が予定を上回っており、成果は出ています。</p> <p>しかし、生涯学習推進協議会については、開催しなかったため、評価はBとしました。</p>	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 市民主催講座参加者数	4,341人	4,500人	市民主導の講座を活性化し、参加者の増加を目指します。
(2) 「下和田の郷」協働事業来館者数	9,449人	9,500人	渋谷中学校総合学習スペースの大きさ等を考慮し、現在の参加者数維持を目指します。

2. その他、事務事業に関する特記事項

市民と協働で進める事業では、学習グループが自主的に活動できるようなサポート体制が必要です。そのためにも、関連する講座の開催や、社会教育主事、社会教育指導員などによるアドバイスを今後も進めていきます。市では、毎年、社会教育主事の資格取得の研修に参加させ、社会教育主事資格者を増やしています。

中項目(2) 関係機関と連携して推進する

- 【目標】
- ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
 - ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

主な事業と平成21年度の実績

<小項目①> 財団・公社との連携

- ・財団・公社の事業採算性と公益的責務をふまえた市との役割分担を明確にします。
- ・財団・公社の公益的責務に着目し、行政の事業領域を委ねていきます。

(1) スポーツ・よか・みどり財団支援事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 スポーツ、緑化推進活動、その他多様な余暇活動のための事業を実施している財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団を支援しました。

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団運営費補助金

【活動指標】 市からの派遣職員数 予定 5人 実績 4人

<小項目②> 関係機関との連携

- ・高度で専門的な学習機会の提供事業などを、大学や民間教育機関と連携して推進していきます。
- ・行政の事業領域の見直し。

(1) 読書活動推進事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

(実績) おはなし会 77回実施・1,615名参加
読書講演会 全3回実施・のべ72名参加
子ども読書活動推進講座 全2回実施・のべ281名参加
一日図書館員 3回実施・43名参加

- ・大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・大和市子ども読書活動推進実施計画の実施



【活動指標】 講座等実施回数 予定 70回 実績 85回

大項目4 推進体制の確立 中項目(2) 関係機関と連携して推進する		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①②ともに、想定される範囲内の達成度でした。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】市が出資する財団・公社との連携	施策の達成度 B
【小項目②】関係機関との連携	
<p>(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団は、豊かで個性ある市民文化の増進に寄与することを目的としていますが、それぞれの役割分担を図りながら、事業を行うことができました。</p> <p>また、読書活動においては、ボランティア団体等に事業の一翼を担っていただくなど、連携は継続して図られているものと考えています。</p>	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H21年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学講座受講者のべ人数	871人	900人	受講者定員合計の8割以上の出席率を最終目標にしています。本年度は81%でした。
(2) 出前講座「どこでも講座」申込件数	18件	20件	毎年1件の増加を目指します。

2. その他、事務事業に関する特記事項

今後も、市が実施する事業や財団が実施する事業などの整合を図り、それぞれの特性を生かした事業展開を行っていきます。また、各課で行っている事業では、ボランティア団体等に委ねる事業、協働で行う事業、自主的に行っていただく事業などを整理し、市民のための生涯学習の振興に努めます。

今後も、市民ニーズに即した講座内容や、より多くの方が受講できるような開催場所について検討を行っていきます。

中項目(3) 総合行政として推進する

- [目標] ・ 関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
 ・ 各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

主な事業と平成 21 年度の実績

<小項目①> 全庁的協議組織の設置

- ・ 生涯学習推進調整会議を設置し、全庁的な施策の推進を図ります。
- ・ 事業内容検討委員会及び特別教室開放推進委員会を設置し、事業調整を図ります。

(再掲) 市立小中学校特別教室の開放事業 [担当] 生涯学習センター

[事業内容] 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。
 <特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	42回	785人	引地台中	75回	709人
渋谷小	182回	3,379人	渋谷中	1,356回	23,792人
林間小	154回	1,530人	光丘中	69回	1,435人

※渋谷中学校(特別教室・1階総合学習スペース(愛称:下和田の郷))の開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

[活動指標] 下和田の郷教室事業数 予定 24 事業 実績 24 事業

<小項目②> 各部署の取り組み推進

- ・ 全庁的な意識づくり、共通認識を醸成していきます。
- ・ 具体的な取組方針や、事業フレームを明確にしていきます
- ・ 生涯学習主管部署が、全庁にわたる関連事業についての進行管理を行っていきます。

(再掲) 読書活動推進事業 [担当] 図書館

[事業内容] ・ 各種おはなし会・文学講座などを開催しました。
 (実績) おはなし会 77回実施・1,615名参加
 読書講演会 全3回実施・のべ72名参加
 子ども読書活動推進講座 全2回実施・のべ281名参加
 一日図書館員 3回実施・43名参加
 ・ 大和市子ども読書活動推進会議の開催
 ・ 大和市子ども読書活動推進実施計画の実施

[活動指標] 講座等実施回数 予定 70回 実績 85回

＜小項目③＞ 生涯学習所管部門の整備・充実

- ・ 明確な目標設定のもと、推進体制（組織）を一元化していきます。
- ・ 適材適所の人材配置に努めます。

(1) 文化財保護審議等運営事務

【担当】 文化振興課

【事業内容】 文化財保護審議会を開催し、市指定重要文化財の指定案件について審議しました。また、文化財保護指導委員による巡回調査を実施しました。

- ・ 文化財保護審議会 2回開催（前年度2回）
- ・ 文化財保護指導委員会 2回開催（同上 2回）
- ・ 指定文化財等巡回調査 2回実施（同上 2回）

【活動指標】 審議会開催数 予定 2回 実績 2回

(2) 社会教育委員会会議運営事務

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 社会教育委員は、教育委員会により委嘱され、社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じて意見を述べたり、調査研究等を行っています。

社会教育委員の構成（22年3月現在）

第26期社会教育委員の任期2年（平成21年6月1日～23年5月31日）

委員定数 15名以内： 現在 11名（男性5名・女性6名）

内訳：学校教育関係者 1名

社会教育関係者 1名

家庭教育の向上に資する活動を行う者 3名

学識経験者 6名

＜1 社会教育委員の会議＞

平成21年度は次のような会議等を行いました。

① 定例会 4回

第1回

協議1 社会教育委員会議から選出する委員について

協議2 社会教育委員に関する研修等について

協議3 新渋谷学習センターの使用料について（諮問）

第2回

協議1 平成20年度社会教育関係団体活動内容等について

協議2 児童館の指定管理者の管理運営状況について

報告1 生涯学習振興補助金（22年度）の選考結果について

報告2 社会教育委員の活動等の報告について

報告3 大和市生涯学習センター条例の一部改正（答申）について

第3回

協議1 大和市子ども読書活動推進計画について

報告1 （仮称）大和市文化芸術振興条例について

報告2 社会教育委員の活動等の報告について

第4回

協議1 「やまと子ども読書プラン」について

報告1 社会教育委員の活動等の報告について

報告2 渋谷学習センターの施設の説明について

- ② 臨時会 4回
 - 第1回図書部会 協議：「やまと子ども読書プラン」について
 - 第2回図書部会 協議： 同 上
 - 第3回図書部会 協議： 同 上
 - 第4回図書部会 協議： 同 上
- ③ 神奈川県社会教育委員連絡協議会 理事会 2回
- ④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会 総会・研修会・地区研究会 2回
- ⑤ 高相管内社会教育委員連絡会議
- ⑥ 神奈川県公民館大会

《 2 関連する会議の委員 》

社会教育委員は、その職務の性質から次の委員の委嘱を受け、それぞれの会議に出席しています。

- ① 生涯学習振興補助金審査委員
- ② 青少年問題協議会委員
- ③ 子ども読書活動推進会議委員
- ④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事
- ⑤ (仮称) 大和市文化芸術振興条例検討会議

社会教育委員会議を開催するほか、神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会、研修会に出席しました。

＜会議等開催回数＞

- ・社会教育委員会議定例会 4回（前年度 4回）
- ・社会教育委員会議図書部会 4回（同上 0回）
- ・社会教育委員会議臨時会 1回（同上 1回）
- ・地区研究会 2回（同上 3回）
- ・研修会 0回（同上 1回）
- ・生涯学習振興基金選考会 1回（同上 1回）

【活動指標】 会議の開催回数（定例会） 予定 4回 実績 4回

大項目4 推進体制の確立		総合評価 B
中項目(3) 総合行政として推進する		
目標の実現に向けて	成果の評価を行うことが難しい項目ですが、成果を出すための事業については、いろいろな工夫が行われています。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 全庁的協議組織の設置	施策の達成度 B
特別教室の開放事業にあたっては、前年度と同様に、市の関係各課、小・中学校で組織する「特別教室開放推進委員会」を開催し、特別教室開放事業の拡大に向け、活発な意見交換を行いました。	
【小項目②】 各部署の取り組み推進	施策の達成度 A
子どもが本に親しみ、読書意欲を高めるため、各種のおはなし会や講演会、講座等を開催しました。特に、子ども読書活動推進講座は、前年度に比べ、多くの人に参加しました。	
【小項目③】 生涯学習所管部門の整備・充実	施策の達成度 B
市指定重要文化財の指定案件について審議する「文化財保護審議会」、社会教育における諸施策を審議する「社会教育委員会議」は、前年度と同様に開催しています。	

2. その他、事務事業に関する特記事項

今後ますます多様化、高度化する学習活動に対応するためには、対象ごとの事業や様々な課題を取り上げた学習機会、まちづくりに関する事業など多領域にわたる学習内容を提供していくことが求められます。これからも、地域の人材の活用や教育機関、民間企業や各種団体との連携をさらに深め、総合的な学習機会の提供を図っていきます。

今後の方針及び予定

- ・ 「点検・評価」によって明らかになった問題点や課題を、市民と共有していくことの大切さについて認識を深め、とくに、「施策に対する成果と課題」について、問題点を共有し、向上・解決に向けてともに考えていけるような評価を心がけていきます。
- ・ 「点検・評価」の対象となる諸計画における施策の精査を行うとともに、施策の達成に向けて、事業の未達成部分の達成や課題のクリアはもちろんのこと、整理統合や新設の検討など、施策の達成に最も有効な手段となるよう、事業自体を精査していきます。
- ・ 「学校教育基本計画（第2期）」「第3次生涯学習計画」の施策達成へ向け事業を行った結果、どれほどの成果をあげることができたのかを判断する根拠として、今回から「成果の指標」を導入し、指標を用いた施策ごとの達成度評価を試みました。今後は、成果の指標を用いた達成度評価のシステム化について検討を行います。

— 事 務 担 当 —

教育部 教育総務課 政策調整担当

TEL 046 (260) 5203 (直通)

文化スポーツ部 文化振興課 政策調整担当

TEL 046 (260) 5222 (直通)